

消防吏員活動服仕様書

京都市消防局総務部施設課

(担当：藤・菱野 212-6649)

第1 総則

- 1 本仕様書は、京都市消防局（以下「当局」という。）が調達する消防吏員活動服（以下「活動服」という。）の仕様について定めるものであり、製作される活動服については、消防活動に適した機能と強度を有するものでなければならない。
- 2 この活動服に使用する材料及び付属品は、全般にわたって十分検査され、本仕様書のすべてを満足するものでなければならない。
- 3 この活動服は、寸法、形状等について本仕様書に定めるものであり、傷、むら、斑点、汚れ及びその他外観を損ねるものであってはならない。
- 4 本仕様書の細部については、すべて当局の承認又は指示を受けるものとし、本仕様書に明示されていない事項についても、それが縫製上当然必要な場合は、これを施行すること。
なお、縫製上のことで疑義が生じたときは、速やかに当局と協議すること。
- 5 生地は別紙1に示すものから選択し、落札業者は、契約後速やかに、染色後の生地見本（10cm四方以上。染色が必要な生地にあつては染色前、染色後いずれのものでも可とする。ただし、染色前の生地で確認を受けた場合にあっては、契約後、染色後の生地について、再度確認を行う。）、色相試験証明書、別紙1に示す国内紡績メーカーによる品質証明及び出荷引受書並びに製作工程表（検収予定月日も明記すること。）を当局へ提出するとともに、承認を得ること。
- 6 サイズについては、別紙3のとおりとする。
- 7 別紙3に適合しない者については、指定の場所へ採寸に行き調製すること。
- 8 製品は上衣とズボンをそれぞれ別の紙袋に入れ、表面に「消防吏員活動服上衣」又は「消防吏員活動服ズボン」、サイズ、職員番号及び職員名を表示すること。（表示内容及び個数は、別途指示する。）
- 9 製品は消防局の各所属に納入すること。
- 10 納入前に当局の指定した場所で検収を実施する。
- 11 納入後1年以内に、主材料生地に顕著な支障を生じ又は縫製上の欠陥を生じた場合にあっては、落札業者の責任において取り替え等必要な措置を講ずるものとする。
- 12 契約後、打合せを実施する。
- 13 請求書に購入物品ごとの単価及び数量を明記すること。

第2 調達数、履行期限及び納入場所

- 1 調達数（サイズ内訳は別途指示する。）
 - (1) 上衣 : 740着
 - (2) ズボン : 770着

2 履行期限

令和9年2月19日（金）

3 納入場所

京都市消防局本部庁舎	中京区押小路通河原町西入榎木町450-2
京都市消防活動総合センター	南区上鳥羽塔ノ森下開ノ内94-4
京都市消防学校	南区上鳥羽塔ノ森下開ノ内21番地の3
京都市北消防署	北区大宮西脇台町17番地の2
京都市上京消防署	上京区釜座通下立売下る東裏辻町398
京都市左京消防署	左京区田中西大久保町36
京都市中京消防署	中京区西堀川通御池下る西三坊堀川町521
京都市東山消防署	東山区清水五丁目130-8
京都市山科消防署	山科区西野今屋敷町2-10
京都市下京消防署	下京区五条通高倉西入堺町27
京都市南消防署	南区西九条菅田町4-1
京都市右京消防署	右京区太秦蜂岡町36
京都市西京消防署	西京区樫原佃19
京都市伏見消防署	伏見区竹田七瀬川町9-1
京都市伏見消防署醍醐消防分署	伏見区醍醐大構町28

第3 型式

難燃性、耐久性及び吸水速乾性を有する生地を使用し、立体裁断縫製等の製法を脇、肩及び内股等に採用することで、活動性に優れるとともに、端正な姿を備える仕様とする。

1 上衣

立て襟、長袖型、左右胸にポケット（左側1個、右側2個）を有し、ファスナー仕立てのシャツ型とする。

2 ズボン

長ズボン型、前身頃及び後身頃並びに両腿の左右にポケット各1個を有し、裾シングル仕立てとする。

第4 材料

- | | |
|---------|--|
| 1 表地 | 別紙1に示すとおり、難燃性、耐久性及び吸水速乾性を有する生地を使用すること。 |
| 2 芯地 | 接着芯 |
| 3 腰裏地 | 上質適性品 |
| 4 ファスナー | YKKエフロンファスナー（表地及び配色生地同色、当局指定品） |
| 5 ボタン | 尿素釦15mm径 生地同系色 4穴 |
| 6 前カン | 上質適性品 |
| 7 縫糸 | 本縫い、ステッチ及びロックは難燃縫製糸（生地同系色） |

第5 縫製要領

- 1 各部の縫合わせは優良で、縫い代は十分であること。
- 2 縫目の目飛びは、縫糸はずれがないこと。
- 3 糸調子は良好で、縫目曲がり、縫縮みがないこと。
- 4 各部の縫目はあたりなく始末する。
- 5 裁断の型入れは、布目を通し、反取りを原則とする。
- 6 襟先の左右、ポケットの左右バランスが取れていること。

第6 縫製仕様

1 上衣（別図参照）

(1) 襟

- ア フルファスナー型の立て襟とし、接着芯を貼り付けて縫製する。
- イ 襟の高さは端で約6.5cm、中央で約7.5cmとする。
- ウ 襟の表裏の周囲には、約1.2cm幅のトリミング配色（オレンジ）を施す。

(2) 襟吊及びサイズ表示

- ア 襟吊を襟付き中央に、はさみ縫い付けする。
- イ サイズ表示を襟付き中央付近に、はさみ縫い付けする。

(3) 前併せ

- ア 突合せ式のファスナータイプとし、ファスナーの上端は襟先までとし、外観上、ファスナーのムシが見えないように縫着すること。
- イ ファスナーは、当局が指定する表生地同系色のファスナーとする。

(4) 前身頃

バストラインで内側から外側にかけて斜め上の角度で切り替える。

(5) 胸ポケット

- ア 両胸のバストライン切り替え線の下側にバストラインと並行して両玉縁式ファスナー式ポケットを設ける。
- イ 左胸ポケット上部に約4cm幅のペン差し込み口を設ける。
- ウ 右胸ポケット上部に位置するバストライン切り替え線の上側に両胸ポケットに比べやや小ぶりの両玉縁式ファスナー式ポケットを設ける。
- エ 各ポケットのサイズについては、別紙2を参照。
- オ アのポケットは、縦16cm×横8cm×厚さ1.2cmの物体を入れてファスナーを閉じることができるようにすること。
- カ ア及びウのファスナーについては、当局が指定するファスナーとし、内側に閉じることとし、共生地のスライダーカバーを装備していること。
- キ ア及びウの両玉縁口布及びファスナーは、オレンジの配色生地とする。

(6) 階級章用台座

右胸上部ポケットの上部に、縦2.5cm×横4cmのモヘア面ファスナーB面（黒色）を縫い付ける。

(7) 左胸標識

ア 左胸ポケット上部に、当局が指定するデザインを昇華プリントワッペンとして、縫い付ける。

イ アの下部に、所属章及び個人章用の台座として、縦2 c m×横9 c mのモヘア面ファスナーB面（黒色）を縫い付ける。

(8) 肩部及び背ヨーク

ア 肩部はパーツを切り替え、肩ヨークパーツを設定する。

イ 背ヨークパーツはオレンジの配色生地とするとともに、V型で切り替え、左右はノーフォーク仕様とし、アコーディオン型のマチを設定することで、肩の可動域を広げる立体的な縫製とする。

ウ 背ヨークパーツに、当局が指定するデザインを、容易に剥がれることのない良質な転写反射プリントでプリントを施すこと。

(9) 脇身頃

裾から袖口までパーツを切り替え、立体的な構造とすることで、腕の可動域を広げるとともに、活動時において裾がズボンからはみ出す等の、服装の乱れが起こりにくい構造とする。

(10) ベンチレーション

通気性を良くし、脇下の蒸れを軽減するため、脇下部に合わせ布式のベンチレーションを設ける。

(11) 裾

三ツ折り縫いのストレート型とする。

(12) 袖

ア 上袖、中袖及び下袖の3つパーツに分かれた構造とすることで、腕の可動域を広げる立体的な縫製とする。

イ 袖口は両玉縁式ファスナー開きとし、袖口の開き部分には三角マチ布（水かき）をカフス根本まで付ける。

ウ ファスナーは前側に閉じることとし、ファスナーを閉じた際、適度に袖口が閉まる構造とすること。

(13) 肘部

ア 肘部をパーツで切り替えることで、肘の可動域を広げる立体的な縫製とする。

イ 補強を目的として、切り替えパーツは2枚合わせとし、左右にミシンステッチをかけ、2枚の生地を縫い止め、立体的な縫製とすること。

(14) 片布、品質表示及び注意ラベル

当局が指定する場所に、片布、品質表示及び取扱に係る注意ラベルを縫い付ける。

2 ズボン（別図参照）

(1) 前身頃

ア 左右各1本の外向きタックを設ける。

イ 前立てには芯を接着し、前立て押え幅3.5 c mとし、ファスナー付けとする。

ウ ファスナー上には前カンを取り付ける。

エ 前立て下部にはカン止めをする。

オ 天狗鼻を設け、上下端はカン止めを施す。

(2) 膝部

ア 膝部をパーツで切り替えることで、膝部の可動域を広げる立体的な縫製とすること。

イ 補強を目的として、切り替えパーツは2枚合わせとし、左右にミシンステッチをかけ、2枚の生地を縫い止め、立体的な縫製とすること。

(3) 前（脇）ポケット

ア 左右腰部に各1個のポケットを取り付け、ポケット口には約0.6cm幅のステッチをかける。

イ ポケット口の上下端にはカン止めを施し、上下端カン止め間の寸法は約16cmとする。(切り替え斜式)

ウ 袋布はスレーキを使用し、底は2重縫いとする。

エ ポケットのサイズについては、別紙2「ポケットサイズ一覧」を参照。

(4) 後ろ身頃

ア 腰部はパーツで切り替えることで、腰部の可動域を広げる立体的な縫製とすること。

イ 腰パーツ下部から裾口までを強度のある片倒しステッチ縫製で切り替えるとともに、脚の可動域を広げる立体的な縫製とすること。

(5) 後ポケット

ア 後身左右腰部に各1個の切りポケットを設ける。

イ 口幅は約14.5cmとし、左右端はカン止めをする。

ウ 雨蓋付き面ファスナー止め（雨蓋側を面ファスナーB面（生地同系色））とする。

エ 雨蓋は、両玉縁の上側の口布に挟み込むものとする。

オ ポケットのサイズについては、別紙2「ポケットサイズ一覧」を参照。

(6) 左腿サイドポケット

ア 左腿のポケットは雨蓋付き面ファスナー止め（雨蓋側を面ファスナーB面（生地同系色））とするとともに、雨蓋下部に約1.5cm幅のトリミング配色（オレンジ）を施す。

イ ポケットの形状については、マチ付きとし、当局が指定する形状とする。

ウ 雨蓋の両端及びポケット本体の上端両端に、カン止めを施す。

エ ポケットの下部の縫製については、ダブルステッチとする。

オ ポケットのサイズについては、別紙2「ポケットサイズ一覧」を参照。

(7) 右腿サイドポケット

ア 右腿のポケットは両玉縁式ファスナー式とし、ファスナー及び両玉縁の口布はオレンジの配色とする。

イ ファスナーの左右端はカン止めをする。

ウ ファスナーは前側に閉じることとする。

エ ポケットの形状については、マチ付きとし、当局が指定する形状とする。

オ ポケットの下部の縫製については、ダブルステッチとする。

カ ポケットのサイズについては、別紙「ポケットサイズ一覧」を参照。

(8) 腰裏

滑り止め付きのスレーキを使用したマーベルを腰裏周囲に縫い付ける。

(9) 脇及び内股の縫製

脇縫いは片倒しステッチ縫製によって強度を確保し、内股は割縫いとする。

(10) 尻合わせ及び内股

ア 尻合わせについては、片倒しステッチ縫製とすることで強度を確保する。

イ 開脚時の突っ張りを軽減させることを目的として、内股部分はバイアスパーツで三角形に切り替え、バイアス特性を活用した伸縮性のある設計とする。

(11) シック補強

天狗裏より内股、小股の交点までスレーキを取り付けるとともに、スレーキを使用した菱形状のシック（あて布）を4か所止めにて縫着する。

(12) ベルトループ

ア 50mm幅のナイロンベルトに対応できる、ホームベース型のベルトループを5本設ける。

イ 前の2本及び左右の2本のベルトループについては、出来上がり横幅が約4cm、通し幅が約6cm（縦寸法約7.5cm）のものとする。

ウ 後ろの1本のベルトループについては、横幅が約6cm、縦幅が約6cmのものとする。

エ 強度確保を目的として、ベルトループ下部については、ダブルステッチとするとともに、下部左右端については、カン止め若しくは4回以上の返し縫を行うこと。

(13) 裾口

シングル式で裾上げ約3cmの三つ折りミシン押えとし、靴ずれ付きとする。

(14) 片布及び品質表示

当局が指定する場所に、片布及び品質表示を縫い付ける。

(15) 熱着式裾上げテープ

施設課在庫分には、裾上げに使用するための熱着式裾上げテープ（生地と良好に接着するもの）を右前（脇）ポケットに入れる。

消防吏員活動服表生地仕様（上衣及びズボン）

項目		性能	試験方法等
品名の例示		・帝国繊維(株) TS82CM 又は TT148 ・東レ(株) PE2418WTS	—
混紡率 (%)		メタ系アラミド 75 (±3) パラ系アラミド 5 (±3) 吸水速乾ポリエステル 20 (±5) 導電性繊維 1 (以下)	JIS L 1030
番手	タテ	40/2s	JIS L 1096 A 法
	ヨコ	40/2s	
組織		平織（ヨコ部分二重織）	JIS L 1096 A 法
密度 (本/2.54 cm)	タテ	65 以上	JIS L 1096 A 法
	ヨコ	55 以上	
質量 (g/m ²)		180 以上 210 以下	JIS L 1096 A 法
色相	本体用生地 (ネイビー)	A 又は B を標準色とする。 A : 色相(H) 1.3PB、明度(V) 2.9、彩度(C) 3.2 B : 色相(H) 1.8PB、明度(V) 2.8、彩度(C) 2.8	JIS Z 8721 日立カラーアナライザー C-2000S II-T 使用 標準色を、各生地 1 つずつ 指定すること。
	配色用生地 (オレンジ)	C 又は D を標準色とする。 C : 色相(H) 9.4R、明度(V) 5.0、彩度(C) 9.3 D : 色相(H) 9.4R、明度(V) 5.1、彩度(C) 9.7	
色差 (ΔE*ab)		0.8 以下	JIS Z 8730
引張強さ (N)	タテ	800 以上	JIS L 1096 A 法 ラベルドストリップ法
	ヨコ	700 以上	
引裂強さ (N)	タテ	35 以上	JIS L 1096 D 法 ペンジュラム法
	ヨコ	30 以上	
寸法変化率 (%)	タテ	2.5 以下	JIS L 1096 D 法
	ヨコ	2.5 以下	
燃焼性	残炎時間 (秒)	1 以下	JIS L 1091-1992 A-4 法
	余じん時間 (秒)	1 以下	
	炭化距離 (cm)	10 以下	
帯電電荷量 (μc/m ²)		7 未満	JIS L 1094
染色堅牢度 (級)	洗濯	4 以上	JIS L 0844 A-2 法
	摩擦 (乾)	4 以上	JIS L 0849 II 型

	汗	4 以上	JIS L 0848
	耐光	3 以上	JIS L 0842 第 3 露光法
ピリング（級）		4 以上	JIS L 1076 A 法
限界酸素指数		28 以上	JIS L 1091 E 法（E-2 号）
吸水速度		15 秒以下	JIS L 1907 滴下法（裏面）
拡散性残留水分率		10%以下（測定時間 60 分後）	※欄外に記載
染色方法 （メタ系及びパラ系アラミド）		原液着色（一部、綿染め可）	-

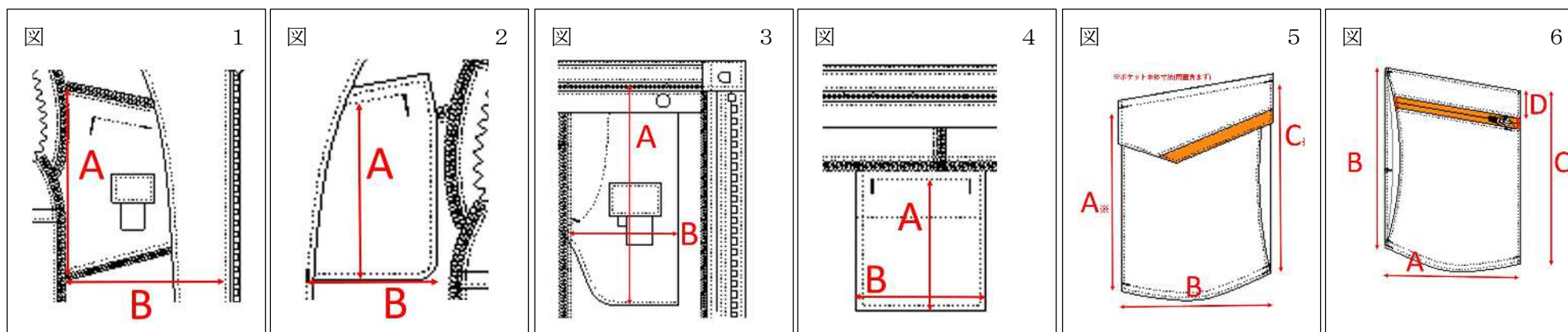
※20℃×65%RH 下の雰囲気中で試料（裏面）に約 0.3ml の水を滴下させ、時間毎に重量を測定し、拡散性残留水分率を算出する。残留水分率(%)＝各時間の水分量(g)×100／滴下直後の水分量(g)

ポケットサイズ一覧

単位：mm、許容差±15

		A3S	ASS	AS	AM	AL	ALL	A3L	BM	BL	BLL	B3L
【図 1】 左右胸ポケット	A	215～270の範囲内とし、サイズに応じて最適なサイズとすること。										
	B	170～240の範囲内とし、サイズに応じて最適なサイズとすること。										
【図 2】 右上胸ポケット	A	150										
	B	110										

		A、B及びW体										
ウエストサイズ表記		73	76	79	82	85	88	91	94	100	106	110
【図 3】 前（脇）ポケット	A	285										
	B	175					180					
【図 4】 両腿サイドポケット	A	200										
	B	235										
	C	230										
	D	35										



消防吏員活動服上衣（男女兼用）サイズ適応表

（単位：c m）

サイズ	着丈	肩幅	袖丈	首回り	胸囲	中胴	裾幅
許容差	0～+2	0～+2	±1.0	±1.0	0～+2	0～+2	0～+2
A3S	72	42	53	43	95	81	96
ASS	72	43	53	44.5	100	86	100
AS	72	44	54	45.5	105	91	103.5
AM	75	46	56	47	110	96	107
AL	78	48	58	48.5	115	101	112
ALL	81	49	60	49.5	119	105	116
A3L	84	51	63	50.5	123	109	120

BM	75	49	55	49.5	119	110	123
BL	78	51	57	50.5	125	116	129
BLL	81	53	59	52	129	120	133
B3L	84	56	61	53	133	126	138

* 欄中の袖丈値は、基準値であり、2 c m刻みでの調整が可能とすること。

* 首回り値は、襟上端辺の襟先（ファスナーを含む。）までの直線距離を測定した寸法とする。

* 中胴値は、バストラインと裾との中間のくびれ位置を測定した寸法とする。

消防吏員活動服ズボン（男性）サイズ適応表

（単位：c m）

サイズ	ウエスト	渡り	股上	股下（＊）	裾口	ヒップ
許容差	0～＋2	0～＋2	0～＋2	0～＋2	0～＋2	0～＋2
A 73	73	34.5	26	75	21.5	103.5
A 76	76	36	26.5		21.5	107.5
A 79	79	36	27		22	109.0
A 82	82	37	27.5		22	112.0
A 85	85	38	27.5		22.5	115.0
A 88	88	39	28		22.5	118.5

B 91	91	40	28	75	23.5	119.0
B 94	94	40.5	28		23.5	121.5
B 100	100	41	29		24.5	125.0
B 106	106	42	29		24.5	129.5
B 110	110	43	30		25.5	133.5

＊欄中の股下値は、基準値であり2 c m刻みでの調整が可能とすること。

＊ヒップ値は、左右前（脇）ポケット口の下端から数センチ下部間を測定した寸法とする。

消防吏員活動服ズボン（女性）サイズ適応表

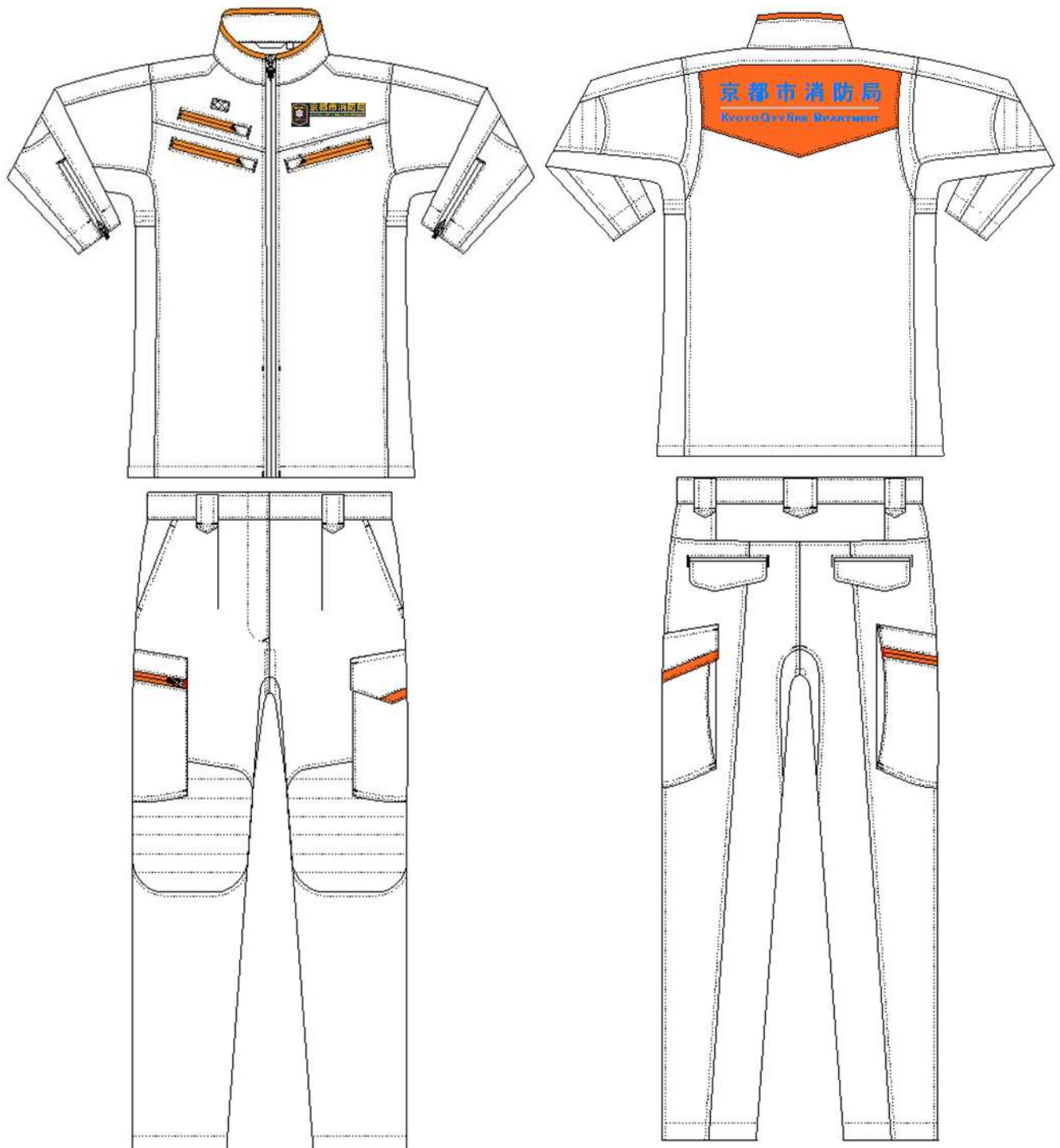
（単位：c m）

サイズ	ウエスト	渡り	股上	股下（＊）	裾口	ヒップ [°]
許容差	0～＋2	0～＋2	0～＋2	0～＋2	0～＋2	0～＋2
W61	61	28.5	23	75	18	90.5
W64	64	29	24		18	93.5
W67	67	32	24.5		19	96.5
W70	70	33	25		19	99.5
W73	73	36.5	26		21.5	106.5
W76	76	38	26.5		21.5	110.5
W79	79	38	27		22	114.0
W82	82	39	27.5		22	117.0
W85	85	40	27.5		22.5	120.0
W88	88	41	28		22.5	123.5
W91	91	42	28		23.5	124.0
W94	94	42.5	28		23.5	126.5

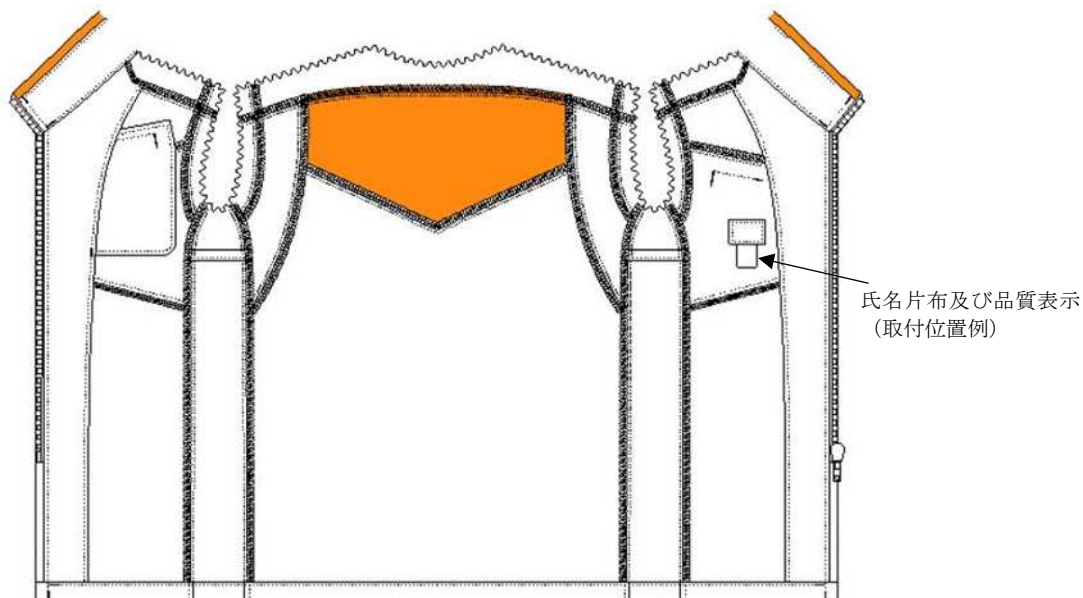
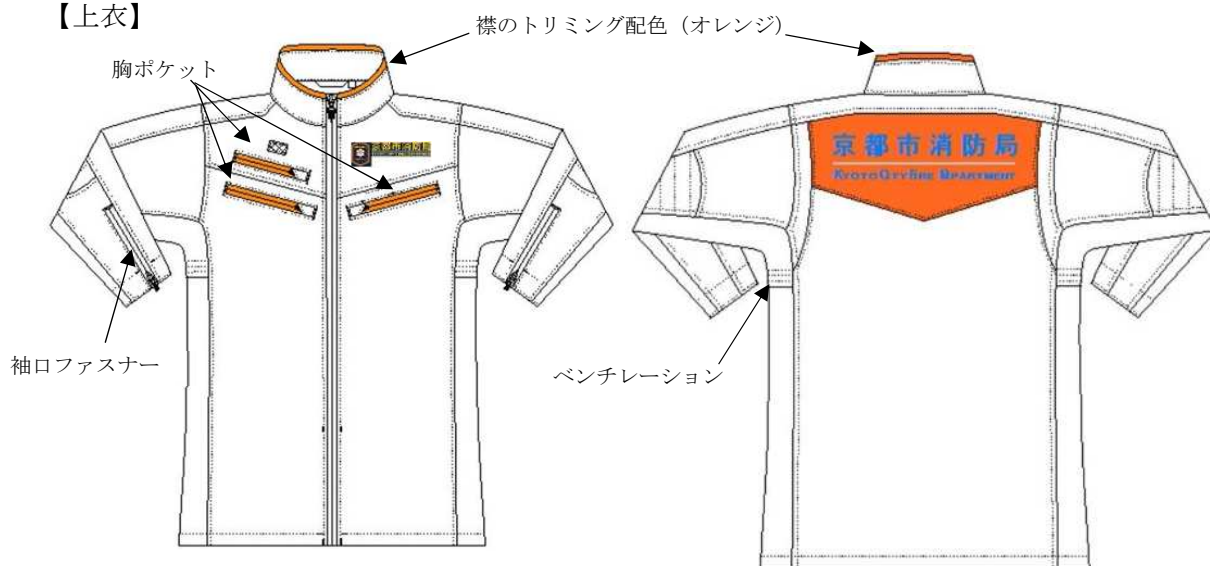
＊欄中の股下値は、基準値であり2 c m刻みでの調整が可能とすること。

＊ヒップ値は、左右前（脇）ポケットロの下端から数センチ下部間を測定した寸法とする。

【全体図】



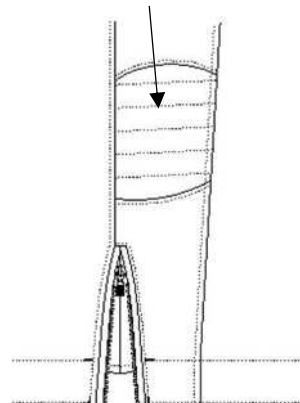
【上衣】



【左胸標識】



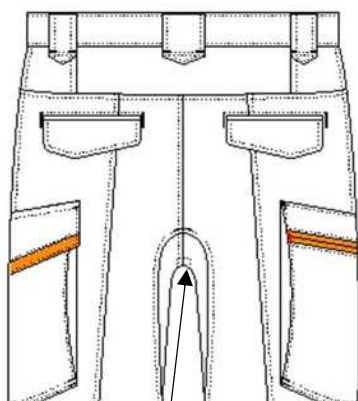
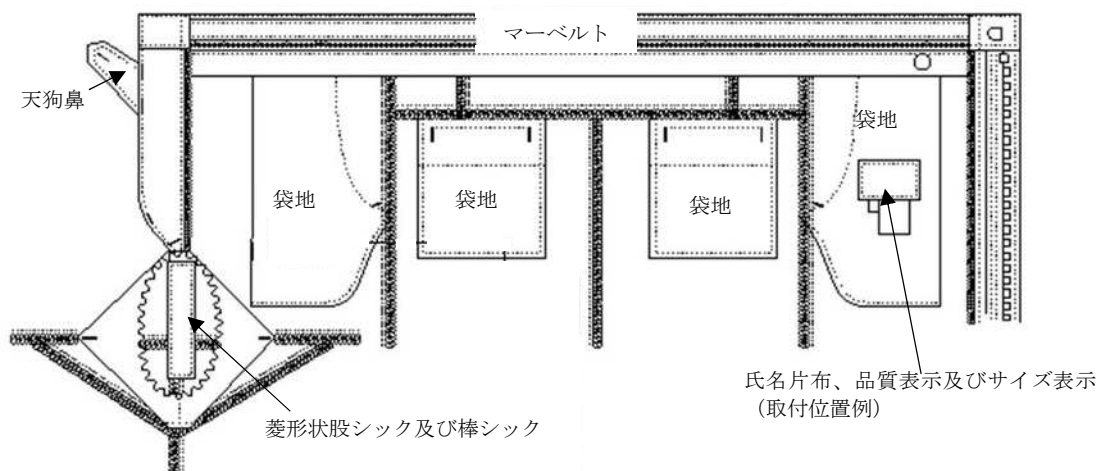
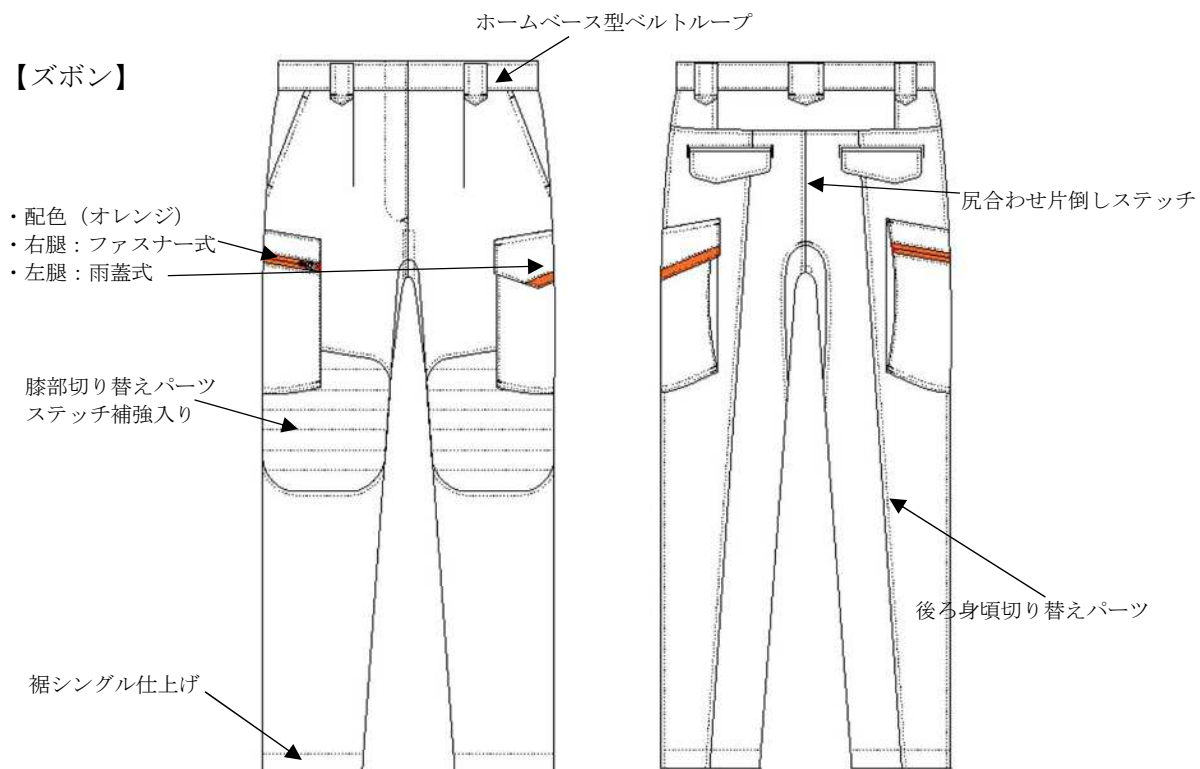
肘部切り替えパーツ
ステッチ補強入り



【背ヨークデザイン】



【ズボン】



内股切り替え伸縮設計

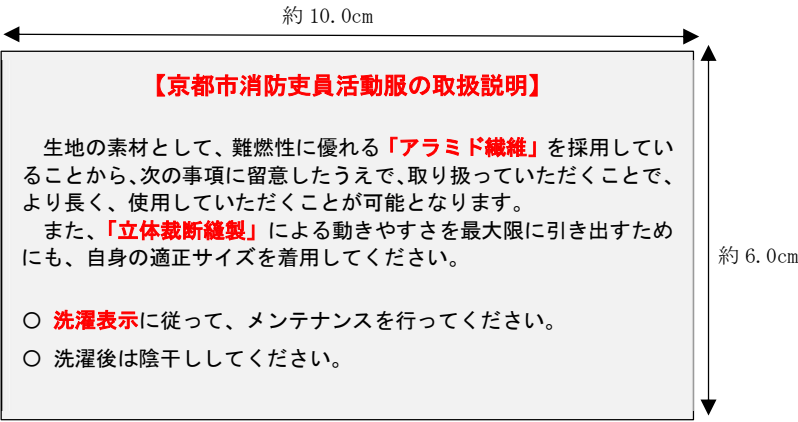
【片布】

(サイズ：6.5 cm × 4 cm)

血液型		貸与年	
所 属			
氏 名			
納入者			

*必要事項を記載するための欄が設けられていれば、協議のうえ、サイズ及び意匠の変更が可能。

【注意ラベル】



消防吏員統括指揮活動服仕様書

京都市消防局総務部施設課

(担当：藤・菱野 212-6649)

第1 総則

- 1 本仕様書は、京都市消防局（以下「当局」という。）が調達する消防吏員統括指揮活動服（以下「活動服」という。）の仕様について定めるものであり、製作される活動服については、消防統括指揮活動に適した機能と強度を有するものでなければならない。
- 2 この活動服に使用する材料及び付属品は、全般にわたって十分検査され、本仕様書のすべてを満足するものでなければならない。
- 3 この活動服は、寸法、形状等について本仕様書に定めるものであり、傷、むら、斑点、汚れ及びその他外観を損ねるものであってはならない。
- 4 本仕様書の細部については、すべて当局の承認又は指示を受けるものとし、本仕様書に明示されていない事項についても、それが縫製上当然必要な場合は、これを施行すること。
なお、縫製上のことで疑義が生じたときは、速やかに当局と協議すること。
- 5 生地は別紙1に示すものから選択し、落札業者は、契約後速やかに、染色後の生地見本（10cm四方以上。染色が必要な生地にあつては染色前、染色後いずれのものでも可とする。ただし、染色前の生地で確認を受けた場合にあっては、契約後、染色後の生地について、再度確認を行う。）、色相試験証明書、別紙1に示す国内紡績メーカーによる品質証明及び出荷引受書並びに製作工程表（検収予定月日も明記すること。）を当局へ提出するとともに、承認を得ること。
- 6 サイズについては、別紙3のとおりとする。
- 7 別紙3に適合しない者については、指定の場所へ採寸に行き調製すること。
- 8 製品は、上衣をそれぞれ袋に入れ、表面に「統括指揮活動服」及びサイズを表示すること。
- 9 納入前に当局の指定した場所で検収を実施する。
- 10 納入後1年以内に、主材料生地に顕著な支障を生じ又は縫製上の欠陥を生じた場合にあっては、落札業者の責任において取り替え等必要な措置を講ずるものとする。
- 11 契約後、打合せを実施する。
- 12 請求書に購入物品ごとの単価及び数量を明記すること。

第2 調達数、履行期限及び納入場所

- 1 調達数
30着（サイズは別途指示する。）
- 2 履行期限
令和9年2月19日（金）
- 3 納入場所
京都市消防局本部庁舎 京都市中京区押小路通河原町西入榎木町450-2

第3 型式

難燃性、耐久性及び吸水速乾性を有する生地を使用し、立体裁断縫製等の製法を脇、肩及び内股等に採用することで、活動性に優れるとともに、端正な姿を備える仕様とする。

立て襟、長袖型、左右胸にポケット（左側1個、右側2個）を有し、ファスナー仕立てのシャツ型とする。

第4 材料

- | | |
|---------|--|
| 1 表地 | 別紙1に示すとおり、難燃性、耐久性及び吸水速乾性を有する生地を使用すること。 |
| 2 芯地 | 接着芯 |
| 3 腰裏地 | 上質適性品 |
| 4 ファスナー | YKKエフロンファスナー（表地同色、当局指定品） |
| 5 前カン | 上質適性品 |
| 6 縫糸 | 本縫い、ステッチ及びロックは難燃縫製糸（生地同系色） |

第5 縫製要領

- 1 各部の縫合わせは優良で、縫い代は十分であること。
- 2 縫目の目飛びは、縫糸はずれがないこと。
- 3 糸調子は良好で、縫目曲がり、縫縮みがないこと。
- 4 各部の縫目はあたりなく始末する。
- 5 裁断の型入れは、布目を通し、反取りを原則とする。
- 6 襟先の左右、ポケットの左右バランスが取れていること。

第6 縫製仕様（別図参照）

- 1 襟
 - (1) フルファスナー型の立て襟とし、接着芯を貼り付けて縫製する。
 - (2) 襟の高さは端で6.5cm、中央で7.5cmとする。
 - (3) 襟の表裏の周囲には、1.2cm幅のトリミング配色（紺）を施す。
- 2 襟吊及びサイズ表示
 - (1) 襟吊を襟付き中央に、はさみ縫い付けする。
 - (2) サイズ表示を襟付き中央付近に、はさみ縫い付けする。
- 3 前併せ
 - (1) 突合せ式のファスナータイプとし、ファスナーの上端は襟先までとし、外観上、ファスナーのムシが見えないように縫着すること。
 - (2) ファスナーについては、当局が指定するファスナーとする。
- 4 前身頃
バストラインで内側から外側にかけて斜め上の角度で切り替える。
- 5 胸ポケット
 - (1) 両胸のバストライン切り替え線の下側にバストラインと並行して両玉縁式ファスナー式ポケットを設ける。

- (2) 左胸ポケット上部に4 c m幅のペン差し込み口を設ける。
- (3) 右胸ポケット上部に位置するバストライン切り替え線の上側に両胸ポケットに比べやや小ぶりの両玉縁式ファスナー式ポケットを設ける。
- (4) 各ポケットのサイズについては、別紙2を参照。
- (5) (1)のポケットは、縦16 c m×横8 c m×厚さ1.2 c mの物体を入れてファスナーを閉じることができるようにすること。
- (6) (1)及び(3)のファスナーについては、当局が指定するファスナーとし、内側に閉じることとし、共生地のスライダーカバーを装備していること。
- (7) (1)及び(3)の両玉縁口布については、オレンジの配色生地とする。

6 階級章用台座

右胸上部ポケットの上部に、縦2.5 c m×横4 c mのモヘア面ファスナーB面（黒色）を縫い付ける。

7 左胸標識

- (1) 左胸ポケット上部に、当局が指定するデザインを昇華プリントワッペンとして、縫い付ける。
- (2) (1)の下部に、所属章及び個人章用の台座として、縦2 c m×横9 c mのモヘア面ファスナーB面（黒色）を縫い付ける。

8 肩部及び背ヨーク

- (1) 肩部はパーツを切り替え、肩ヨークパーツを設定する。
- (2) 肩及び背ヨークパーツはオレンジの配色生地とするとともに、V型で切り替え、左右はノーフォーク仕様とし、アコーディオン型のマチを設定することで、肩の可動域を広げる立体的な縫製とする。
- (3) 背ヨークパーツに、当局が指定するデザインを、容易に剥がれることのない良質な転写反射プリントでプリントを施すこと。

9 脇身頃

裾から袖口までパーツを切り替え、立体的な構造とすることで、腕の可動域を広げるとともに、活動時において裾がズボンからはみ出す等の、服装の乱れが起りにくい構造とする。

10 ベンチレーション

通気性を良くし、脇下の蒸れを軽減するため、脇下部に合わせ布式のベンチレーションを設ける。

11 裾

三ツ折り縫いのストレート型とする。

12 袖

- (1) 上袖、中袖及び下袖の3つパーツに分かれた構造とすることで、腕の可動域を広げる立体的な縫製とする。
- (2) 袖口は両玉縁式ファスナー開きとし、袖口の開き部分には三角マチ布（水かき）をカフス根本まで付ける。
- (3) ファスナーは前側に閉じることとし、ファスナーを閉じた際、適度に袖口が閉まる構造とすること。

- (4) 上袖はオレンジの配色生地とすること。
- (5) 左袖上腕部に、当局が指定するワッペンに適合するモヘア面ファスナーB面（縫い付け生地と同色）を縫い付けること。

1 3 肘部

- (1) 肘部をパーツで切り替えることで、肘の可動域を広げる立体的な縫製とする。
- (2) 補強を目的として、切り替えパーツは2枚合わせとし、左右にミシンステッチをかけ、2枚の生地を縫い止め、立体的な縫製とすること。

1 4 片布、品質表示及び注意ラベル

当局が指定する場所に、片布、品質表示及び取扱いに係る注意ラベルを縫い付ける。

消防吏員統括指揮活動服表生地仕様（上衣）

項目		性能	試験方法等
品名の例示		・ 帝国繊維(株) TS82CM 又は TT148 ・ 東レ(株) PE2418WTS	—
混紡率 (%)		メタ系アラミド 75 (±3) パラ系アラミド 5 (±3) 吸水速乾ポリエステル 20 (±5) 導電性繊維 1 (以下)	JIS L 1030
番手	タテ	40/2s	JIS L 1096 A 法
	ヨコ	40/2s	
組織		平織（ヨコ部分二重織）	JIS L 1096 A 法
密度 (本/2.54 cm)	タテ	65 以上	JIS L 1096 A 法
	ヨコ	55 以上	
質量 (g/m ²)		180 以上 210 以下	JIS L 1096 A 法
色相	本体用生地 (ネイビー)	A 又は B を標準色とする。 A : 色相(H) 1.3PB、明度(V) 2.9、彩度(C) 3.2 B : 色相(H) 1.8PB、明度(V) 2.8、彩度(C) 2.8	JIS Z 8721 日立カラーアナライザー C-2000S II-T 使用 標準色を、各生地 1 つずつ 指定すること。
	配色用生地 (オレンジ)	C 又は D を標準色とする。 C : 色相(H) 9.4R、明度(V) 5.0、彩度(C) 9.3 D : 色相(H) 9.4R、明度(V) 5.1、彩度(C) 9.7	
色差 (ΔE*ab)		0.8 以下	JIS Z 8730
引張強さ (N)	タテ	800 以上	JIS L 1096 A 法 ラベルドストリップ法
	ヨコ	700 以上	
引裂強さ (N)	タテ	35 以上	JIS L 1096 D 法 ペンジュラム法
	ヨコ	30 以上	
寸法変化率 (%)	タテ	2.5 以下	JIS L 1096 D 法
	ヨコ	2.5 以下	
燃焼性	残炎時間 (秒)	1 以下	JIS L 1091-1992 A-4 法
	余じん時間 (秒)	1 以下	
	炭化距離 (cm)	10 以下	
帯電電荷量 (μc/m ²)		7 未満	JIS L 1094
染色堅牢度 (級)	洗濯	4 以上	JIS L 0844 A-2 法
	摩擦 (乾)	4 以上	JIS L 0849 II 型

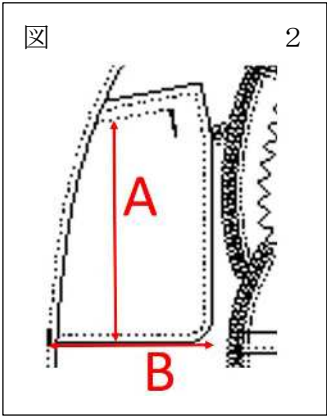
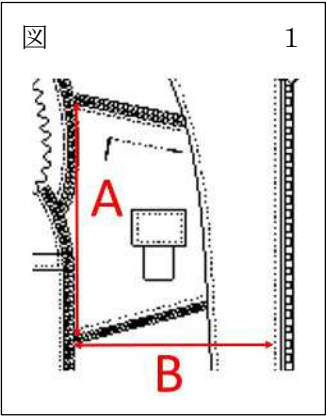
	汗	4 以上	JIS L 0848
	耐光	3 以上	JIS L 0842 第 3 露光法
ピリング（級）		4 以上	JIS L 1076 A 法
限界酸素指数		28 以上	JIS L 1091 E 法（E-2 号）
吸水速度		15 秒以下	JIS L 1907 滴下法（裏面）
拡散性残留水分率		10%以下（測定時間 60 分後）	※欄外に記載
染色方法 （メタ系及びパラ系アラミド）		原液着色（一部、綿染め可）	-

※20℃×65%RH 下の雰囲気中で試料（裏面）に 0.3ml の水を滴下させ、時間毎に重量を測定し、拡散性残留水分率を算出する。残留水分率(%)＝各時間の水分量(g)×100／滴下直後の水分量(g)

ポケットサイズ一覧

単位：mm、許容差±15

		A3S	ASS	AS	AM	AL	ALL	A3L	BM	BL	BLL	B3L
【図1】 左右胸ポケット	A	215～270の範囲内とし、サイズに応じて最適なサイズとすること。										
	B	170～240の範囲内とし、サイズに応じて最適なサイズとすること。										
【図2】 右上胸ポケット	A	150										
	B	110										



消防吏員統括指揮活動服上衣（男女兼用）サイズ適応表

（単位：c m）

サイズ	着丈	肩幅	袖丈	首回り	胸囲	中胴	裾幅
許容差	0～+2	0～+2	±1.0	±1.0	0～+2	0～+2	0～+2
A3S	72	42	53	43	95	81	96
ASS	72	43	53	44.5	100	86	100
AS	72	44	54	45.5	105	91	103.5
AM	75	46	56	47	110	96	107
AL	78	48	58	48.5	115	101	112
ALL	81	49	60	49.5	119	105	116
A3L	84	51	63	50.5	123	109	120

BM	75	49	55	49.5	119	110	123
BL	78	51	57	50.5	125	116	129
BLL	81	53	59	52	129	120	133
B3L	84	56	61	53	133	126	138

* 首回り値は、襟上端辺の襟先（ファスナーを含む。）までの直線距離を測定した寸法とする。

* 中胴値は、バストラインと裾との中間のくびれ位置を測定した寸法とする。

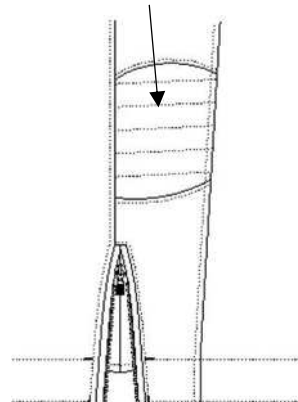
【上衣】



【左胸標識】



肘部切り替えパーツ
ステッチ補強入り



【背ヨークデザイン】



【注意ラベル】

